

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	P特進一貫	情報	社会と情報	全	必修	1

### 講座のねらい

現代の情報社会は、膨大な量の情報があふれ、AI、VR、IOTなど、様々な技術が日々開発され、便利な世の中を作り上げています。私たちは、その中から本当に自分が必要とする情報を見抜き、主体的に活用する力を身につけ使いこなす必要があります。受け身でいるのではなく、自ら有用な情報を作り出し、情報社会に積極的に発信していく態度が求められます。

社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報および情報技術を活用し、情報化の進展に主体的に対応できる能力を身に付けてもらいます。また、今、世界でどんなサイバー犯罪が起きているのか・・・など、教科書にはない最新事情なども授業で扱います。

### 使用教材及び問題集

教科書『最新 社会と情報』（実教出版）  
 問題集『最新 社会と情報 学習ノート』（実教出版）  
 副教材『30時間でマスター Office2013』（実教出版）

### 授業の内容と進め方

授業の持ち物：教科書・学習ノート・30時間でマスターOffice2013・筆記用具

パソコン教室で、座学（講義）と実習活動を並行して進めます。

コンピュータを活用した作品作りをする際は、毎回、個人フォルダに保存してください。提出作品は、提出用フォルダを準備しますので、そこにコピーしてください。

コンピュータに対する知識・技術には個人差があります。隣同士で教え合いながら、クラス全体のレベルを上げていきましょう。周囲を驚かせるような作品を期待しています。

### 講座の到達目標

1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、どうあるべきかが考えられるようになる。
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現する。
3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

### 評価の観点・テスト・課題など

テ ス ト：学期末に定期考査を行います。

その学期に取り組んだ座学の内容、実技の内容を中心に出题します。

評価の観点：考査結果、作業に取り組む姿勢や作品の内容、提出物、実技試験、授業態度などを総合的に評価します。

課 題：基本的には授業中に作品制作を行いますが、時間の制約・個人差がありますので、時として昼休みに行うこともあります。期限を守ることは徹底しますが、完成できない場合は事前に相談に来てください。

### 備考

単にコンピュータの技術・知識を身につけるだけでなく、情報を発信する力を身につけること、期限を守ることを意識してください。

欠席者に対しては、フォローアップを行いますので、相談にきてください。

（公欠・出席停止・忌引きなども同じです。）

## 授業の計画

### 1 学期 学習計画および学習内容

#### 第3章 表現と伝達

2. 表計算ソフトの利用
3. プレゼンテーション

表計算・プレゼンテーションは応用編として、実技中心となる。

### 2 学期 学習計画および学習内容

#### 第4章 コミュニケーションとネットワーク

1. コミュニケーション
2. ネットワーク
3. 情報セキュリティ

### 3 学期 学習計画および学習内容

#### 第5章 情報社会と問題解決

1. 情報システムと人間
2. 問題解決
3. 情報発信